

## 【22\_277思考系メルマガ】「ダマシ」はあるのか？

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先日お送りしたメルマガ【22\_270技術系メルマガ】『待ち伏せポイント』に着いたらやるべき事 ですが

こちらを配信してから2～3日で、いつも以上にたくさんの感想を頂き、大きな反響があったので

その中から印象的な感想をピックアップしまして

今回は世間一般に言われる「ダマシ」という概念について、僕の考えることを書いてみようと思います。

□  
└─  
■ チャートの動きに「ダマシ」というものはない  
└──────────────────

いきなり結論をどーんとぶち上げてしまいましたが(笑)

この理由を説明するのに、非常に分かりやすい説明を感想として送ってくれた方がいたので

本文を一部引用させていただき、ご紹介します。

～～以下、引用(本文ママ)～～

ちなみに、よく言われる、ブレイクアウトの失敗を「ダマシ」と言われていることが多いですが、自分は「迷い」とか「間違い」と表現しています。

理由は、「相場は多くの人間が関わっている事から、誰かが誰かをダマすと考えるよりも、多くの人間の思案が交差し、迷いや間違いが頻繁に起こっている」と考える為です。

～～

頂いたこのメールを基に、僕が思ったことを端的に呟いたのが

先日のツイートになります。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1574934677080907781>

この方が簡潔に書いてくださっている通りなのですが、相場というのは

ファンダメンタル分析を行う人がいて、僕らのようにテクニカル分析を行う人もいます。

そして、テクニカル分析の中にも無数の『型』が存在しているわけです。

また、トレードする立場から見てもいろんな人がいて、それこそ個人投資家から機関投資家、商社などの実需筋に至るまで

相場に触れる理由も目的も全く違う人たちが“皆同じ土俵(チャート)”で売買しているのです。

いくなれば、同じリングで異種格闘技戦を行っているようなものです。

ですから、それを踏まえて考えれば

自分の『型』“だけ”が相場で都合よく機能してくれる事などないわけで

だからこそ、『違ったらすぐ切る』『合えばしっかりリワードを取る』

これを徹底するしかないのです。

これこそが『相場の不確実性』であり、それに対応するための『自分の中での一貫性を徹底する事』に繋がってきます。

実際、僕が時々ツイートするトレードも、僕が目線を決めた後仕掛けている場所(特にMAとプライスの位置関係)に注目してもらおうと

本当にいつも同じ(ような)所しか狙っていないことが分かってもらえると思います。

これ、正直言って僕のノウハウでもかなり核の部分になりますが

よく見ないとわからないところでもあるので、構わず情報公開してしまっています(笑)

とはいえ、これだけ目線とセットアップを固定してトレードしていると、想定待ち伏せ位置でエントリーしても

大きなオーバーシュートを食って目線通りに飛んでいく、、、なんてこともよくあります。

ですがそれは、ある意味『必要経費としてのロスカット』と考えればよく

別のチャンスでちゃんと勝ち負けを重ねていき、トータルの利益をプラスに持っていければ問題ないのです。

ただ、僕がいくらこれだけ『この待ち伏せ場所で仕掛けるだけで結構勝てますよ』

と言ったとしても、それを徹底して実践できる人は極僅か。。。。

それは、今日のテーマとなった「ダマシ」といったものに振り回され、1回ごとの勝ち負けの結果に一喜一憂した結果

なかなか自分の『型』を定めることができない状態が続いてしまっていることが原因かもしれません。

「ダマシにやられる」のではなく、自分の中での「迷い・ブレ」によって生じた負けに自分の意識が引っ張られてしまっているのだと考えをシフトし

そこから脱却するためにどうしたらいいのかというヒントが、僕の日々のメルマガから読み取ってもらえるよう、引き続き発信していきます。

なかなかこの壁を破るのが難しいですが、これをしっかり読んでいる皆さんには

是非その取っ掛かりをどこかで掴んでもらえたらいいなと思っています。